

平成23年度の予算の概要

特別会計

制度加入者の皆さんが安心して医療やサービスなどを受けられるために使われる予算です。主な収入は、保険料や現役世代からの支援金、国・県・市町村支出金です。

歳入は、保険料、現役世代からの支援金、国・県・市町村支出金の増加が見込まれ、昨年度に比べ、304億6,829万円増加しています。

歳出のおよそ98%を占める保険給付費(医療費)は、一人当たりの医療費の増加などが見込まれ、昨年度に比べ、307億3,043万円増加しています。

区 分		予 算 額	対前年度比
歳 入 4,372億6,238万円	保険料	375億1,267万円	2.80% ↑
	現役世代からの支援金	1,869億7,868万円	7.70% ↑
	国庫支出金	1,328億7,344万円	8.10% ↑
	県支出金	409億5,441万円	10.13% ↑
	市町村支出金	364億5,986万円	6.93% ↑
	その他	24億8,332万円	62.22% ↓
歳 出 4,372億6,238万円	保険給付費	4,299億8,432万円	7.70% ↑
	保健事業費	21億341万円	25.27% ↑
	葬祭費	16億8,420万円	4.91% ↑
	審査支払手数料	11億2,530万円	12.38% ↓
	事務費	17億201万円	2.48% ↓
	その他	6億6,314万円	87.53% ↓



お問い合わせ先 総務課



ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品(新薬)の特許期間等が終了したあとに、他の製薬会社が先発医薬品との同等性を証明して作られる「後発医薬品」のことです。

基本的に先発医薬品と同等の効能・効果があり、開発費用も低いため、一般的に低価格で提供されています(※薬の形、色や味は先発医薬品と異なる場合があります)。

まだ先発医薬品しかなく、ジェネリック医薬品がない場合もあります。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師へご相談ください

医療機関の窓口や医師に診察を受けているときに、「ジェネリック医薬品希望カード」を見せてください。また処方せんの下の欄に医師の署名または記名・押印がなく、具体的な薬に変更不可の記載がない場合、ジェネリック医薬品に変更できます。

ジェネリック医薬品を調べることができます

日本ジェネリック医薬品学会が運営するホームページ「かんじゃさんの薬箱」(<http://www.generic.gr.jp>)では、ジェネリック医薬品の検索や推進している医療機関等を調べることができます。

【表面】

【裏面】



「ジェネリック医薬品希望カード」をご利用ください

後期高齢者医療被保険者証を送付時に同封しました「後期高齢者医療制度のごあんない」の最後のページに記載しておりますので、切り取ってお使いください。

また、ご連絡をいただければ郵送でお送りします。

お問い合わせ先 給付管理課